

<b>1. 発行作業グループ:</b>	<b>2. アラート番号:</b>
作業グループ: オーバサイト作業グループ 連絡先: contact@questforum.org	16-009A
<b>3. 影響を受ける文書:</b>	<b>4. 発行日:</b>
TL 9000 審査工数	2016年11月28日
<b>5. アラート発行理由:</b>	
審査工数表を含む TL 9000 審査工数文書の改版発行を通知する。新文書は R5.0。	
<b>6. 説明:</b>	
<p>認証機関（CB）、組織、及び業界のコンサルタントから受けた幾つかのコメント及び提案に対応するため、TL 9000 審査工数表が改版された。効果的に ISO 9001 の審査を実施するために必要となる時間を TL 9000 の最小審査人・日とは分けて計算するという考え方は維持されている。従来どおり、ISO 9001 の審査に必要な時間を決定するために IAF MD 5 が用いられる。</p> <p>TL 9000 審査工数表に対するより重大な変更は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● TL 9000 要求事項の最小審査工数は TL 9000 測定法の最小審査工数から分離された。要求事項に要する工数は有効要員数を最小審査人・日の計算に用いる ISO 9001 のモデルに従う。測定法の最小審査人・日は測定法システムの複雑さに基づく。</li> <li>● 測定法システムの複雑さは 6 つの要因に基づき、“低”、“中”、又は“高”に分類される。結果は TL 9000 測定法の審査の最小審査人・日を規定するために使用される。6 つの複雑さの要因に関する組織及び認証機関からのインプットに基づき測定法システムの複雑さを導出するマイクロソフト Excel のツールが作成された。</li> <li>● 3年の登録サイクルにおいて、（認証されている）TL 測定法システムの全ての製品分類が評価されることを確実にするための注記が追加された。</li> <li>● 新規登録及び再認証については、TL 測定法実施の責任がないサイトに対しては 0.5 審査人・日を削減することが許される。</li> <li>● 審査機関は正当化できる理由を以って、表に規定された TL 9000 の審査工数を IAF MD5 に規定されている限界まで削減することができる。</li> <li>● この新しい文書と測定法システム複雑さ係数ツールは TL 9000 のウェブサイト、<a href="http://tl9000.org/abcb/resources.html">http://tl9000.org/abcb/resources.html</a> から入手できる。</li> </ul>	



**Alert**

## **TL 9000 Informational**

### **7. 備考:**

新しい審査時間表の強制的発効日は **2018年1月1日** である。その日以降に実施される全ての審査の最小時間は複雑さ係数ツールを用いて **R5.0** の文書に従って計算されねばならない。認証機関と組織が合意すれば、この新しい文書は直ちに使用することができる。